

2020年11月28日～29日に京都府で開催予定であった第18回日本神経理学療法学会学術大会がコロナ禍のためWebにて開催されました。この学会は日本理学療法士学会の分科学会に属しており、参加者は約2500名、登録演題は約400演題程度ある非常に大きな学会です。

今回、Zoomを用いた口述発表を行い、最優秀賞である大会長賞を受賞しました。



【コロナ禍により、授賞式が行われなかったため、

当センター院長による賞状の授与をした際の写真】

(左：主任理学療法士 有地 祐人 右：院長 前田 健)



大会長賞

「脊髄損傷者の ASIA Impairment Scale と仙髄領域評価の関係性 -国際標準的評価法の簡略化に向けた取り組み-」 主任理学療法士 有地 祐人